

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

シロギス日本海

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、秋田県水産振興センター、 山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、 富山県農林水産総合技術センター水産研究所、 石川県水産総合センター、鳥取県水産試験場
------	-----	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・ 令和 4 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_239.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査および各県漁獲情報の集約を実施
- ・ 各県は漁獲統計調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 秋田県では2003年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 富山県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 鳥取県では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 機構は各県収集の統計値の整理を実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 4 年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_239.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・ 地域によっては漁獲統計に計上されない遊漁による採捕が採捕量全体の 30%に近いという推定がありモニタリング体制の検討が必要
- ・ 海域全体の漁獲量集計値の蓄積と資源量指標値となるデータの探索が必要